



生涯学習だより

鶴田町教育委員会
社会教育課
☎ 59-2022



人権週間

12月4日～10日

【趣旨】

基本的人権及び自由を遵守し確保するため、「世界人権宣言」が1948年12月10日の国連総会において採択されたことから、12月4日から10日までの一週間は、「人権週間」と定められています。

【重点目標】

「育てよう一人一人の人権意識・身近なことから人権を考えてみませんか」

「ペールオレンジ」って何色？

クレヨンや絵の具、色鉛筆にペールオレンジという色があるのをご存知ですか。

これは、今まで「はだ色」という名前で私たちが使っていた色のことです。世界中には、いろんな肌の色を持った人々が、自分の肌の色に誇りを持って生きています。国際化を迎えた今日、子ども達に、東洋人だけではなく通用しないこの色を「はだ色」と教えるのはそぐわないというこ

家族の関係

鶴田中二年 高嶺 成子さん



私の兄は、養護学校に通っています。兄は、一人で歩くときに転びます。転ぶと後ろに倒れてしまうので頭などを打って、病院に行くことがあります。このように、自分の体をつましく守れない人は、「ヘッドギア」という頭を保護する帽子をかぶります。でも、兄は、それでもけがをするので、あこにも保護するものをとりつけました。

「転ぶのには、理由がある。」と、兄のことを見ている養護学校の先生は言いました。理由は、大人になるにつれて、兄のような障害者は、体のバランスがとれなくなっていくので、すぐ転んだりしてしまうそうです。兄の足は、歩かないせいか、普通の人は、へこんでいる土踏まずが、兄の場合は、ちよつと出ています。周りの人は、兄等を見ると、「うわっ、何でこんな所に身体がいのの？」と、きもつ。身体だ。」等という表情で見えています。でも、兄は、そんなことを言われているのを気づいていないのか、ここにこしていたり、知らん振りをし、遊んでいたります。私は、兄が障害者であることが、

とで、ペンテル会社が3年前にネーミングをかえたといういきさつがあるそうです。サクラは、馴染み深い呼び名ということでかえていませんが。

日頃、何の疑問もたずに、あたりまえだと思って使っているもの、考えていることなど、人権尊重の視点で見つめ直すと、そのおかしさがえてくる一つの例かもしれません。

人権に関する課題として、考えられているもの

- 。女性に関する問題
- 。（家庭内暴力や職場での男女差別）
- 。子どもに関する問題
- 。（いじめ、体罰、児童虐待等）
- 。高齢者に関する問題
- 。（就職、身体的・心理的虐待）
- 。障害のある人への問題
- 。（働く場や機会・ことばなど）
- 。部落差別
- 。アイヌの人に関する問題
- 。外国人に関する問題
- 。HIV感染者やハンセン病患者等に関する問題
- 。て出所した人に関する問題
- 。者とその家族に関する問題

以前はとてもいやでした。どうしていやかというと、健常者の兄さんたちは、妹の面倒を見たり、いろいろ遊びに行ったり、おしゃべりしたり、時には料理も作って食べたりするの、私の兄は、人の面倒を見るどころか、自分の面倒を見てもたたりしているし、遊びにも一人ではいけないし、料理も作れないし、自分で食べることもできません。それが何だかとても恥ずかしかったし、周りの人にも、私の兄のことで馬鹿にしたように言ったり、嫌がるようなことを平気で言ってきたりしたからです。でも、今は、障害を持つている兄に対して、人並みに扱っているつもりです。時々、私の教科書やアルバムをとって破ることがあるけど、それは多分、「写真を見るのが好きだから、私のものを使って学んでいるんだ。」と思います。知的障害の人でも、ちゃんと頑張っていることが改めて分かったのだから、これからは少しずつ、分かるように努力していきたいです。（あじさい推進大会入賞作文より）

子育て応援します

県が進める「子育て学習促進事業」の一環として、各年齢期の健診の際に、「子育て講演会」を実施しています。11月21日の7・8ヶ月健診時を利用して、川内の母子指導員「鷲山正美」先生による「親子遊びと

- 。インターネットを利用した人権侵害
- 。性的指向を理由とする差別
- 。同和問題に正しい認識を

日本固有で、とりわけ重要な人権問題として「同和問題」があります。同和問題とは、いわゆる部落差別の問題です。部落差別とは、同和地区に生まれたというだけで、自分には何の責任もないのに、いわれなき差別を受け、基本的人権が侵害されている深刻な問題です。制度こそ廃止されましたが、現在においても、

- 。就職で不平等に扱われる。
- 。差別用語や文字でさげすまれる。
- 。交際や結婚に反対される。
- 。など、不当な差別を受け、苦しんでいる人がいることをご存知でしょうか。

もちろん、差別を受けてきた人々は、厳しい差別に屈することなく、差別と戦い、人間としての誇りを失わず、様々な伝統芸能や文化の創造に努め、今日の私たちの暮らしの中に深く溶け込んでいます。

みんなが自分の問題として

「私と同和問題は関係がない。」という考え方は、「同和問題」を「他人事」としてとらえ、傍観的で、問題の解決にはなりません。なぜなら、同和問題を未解決に放置することは断じて許されないこと



読み聞かせについて講話が行われ、参加者からは、
「大変、ためになりました。」
「子どもの遊び道具や絵本について

「知ることができました。」
「同年齢の保護者と知り合えて、不安が少しなくなりました。」
等の喜びの声が聞かれました。今後、各種健診時や入学説明会時を利用して、子育てに関する学習や意見交換の場を随時設けます。乳幼児をお持ちの皆さん、育児について一人で悩まずに、遊びにおいでください。

第5回薩摩地区駅伝競走大会スタート！

第5回薩摩地区駅伝競走大会が次の日程で開催されます。今年は、
祁答院・薩摩・鶴田・宮之城町コースで、総延長41・2km、15区間で競われます。本町からは、2チーム出場予定です。地元を走る選手の皆さまに温かい声援をお願いします。

【期日】 12月8日（日）
【日程】 スタート10時

ゴール 12時37分予定
宮之城町総合体育館裏

です。その解決は、国及び地方公共団体の責務であり、同時に、国民一人一人の課題であるという基本認識に反するからです。国民一人一人が同和問題について正しい認識をもつと同時に、差別を許さないという信念を持ち、身の回りにおける差別に気づき、機会あるごとに話し合い、自ら差別をなくする実践をしていくことが大切です。

差別は他人の事ではなく、自分自身の問題であり、「自分も差別の当事者になりうる。」ということに気づくこと、自覚を持つことが、全ての差別をなくす第一歩です。

いつも思う

今野 利彦

いじめちゃいけないよ
わる口いつちやいけないよ
仲間はずれにしちゃいけないよ
いつも思う
あの人がいないといいなあ
などと思ったりする
心の中で
だれかを差別するきもちが
むくむく
あたまをもたげる
かなしいけれど
これがほんとうのこと
いつも思う
わたしだって
いやなことをしている
わたしだって
きらわれることをしている
だったわたしだって
さべつされると思うよ
人権読本「じんけんの詩」より

1月3日は、鶴田町成人式

昭和57年4月2日から昭和58年4月1日生まれまでの方が対象で男子39名、女子36名、計75名が新しく成人の仲間入りをされます。新成人の皆さまを祝福し、激励することを目的に、次のとおり、鶴田町成人式を実施いたします。保護者の皆さまもぜひ、御参加ください。

【期日】 平成15年1月3日（金）

【会場】 中央公民館大ホール
式典 10時